

平成27年4月30日
上場取引所 東 福

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社
 コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 鶴池 正清 TEL 092-641-8585
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	91,116	△4.0	△1,246	—	△1,290	—	△1,252	—
26年12月期第1四半期	94,903	14.8	△1,372	—	△1,402	—	△1,074	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △496百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △1,227百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△11.47	—
26年12月期第1四半期	△9.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	328,000	251,326	76.5
26年12月期	337,260	254,150	75.2

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 250,978百万円 26年12月期 253,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
27年12月期	—				
27年12月期(予想)		20.00	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	427,100	0.6	10,000	△9.2	9,600	△9.5	4,700	4.8	43.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	111,125,714株	26年12月期	111,125,714株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	1,984,842株	26年12月期	1,984,123株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	109,141,335株	26年12月期1Q	109,143,167株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善がみられるなど、緩やかな回復基調が継続しているものの、個人消費においては、消費税増税の影響等による回復の遅れがあるなど、依然として不透明な状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、清涼飲料各社間の販売競争の激化、消費者の節約志向の継続などの影響により、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、清涼飲料事業におきましては、平成27年の経営方針を、『「会社をゼロから見直す」べく、すべての業務を基本に戻って抜本的に見直し、会社の実力に見合った費用・投資・要員体制とする』、『お客さま起点でエリア別、チャネル別にお得意さまに応じた市場実行を徹底し、売上高、営業利益、販売数量および市場シェアのすべてにおいて、数値目標の達成を目指す』とし、それによって経営目標の達成を目指すとともに、将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めてまいります。

健康食品業界および化粧品業界におきましては、両市場ともに、大手企業をはじめとした他業種からの新規参入や低価格商品の増加等により、競争環境は一層厳しさを増しております。

このような状況の中、ヘルスケア・スキンケア事業におきましては、平成27年の重点戦略を、「通販プラットフォームの強化（商品カテゴリー別に市場環境を踏まえたマーケティング戦略）」、「新機能性表示制度に対応した商品戦略」とし、強みを最大限に活かした活動を行い、お客さまからの信頼を獲得し、継続的な成長を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

清涼飲料事業においては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減等により、売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ31億5千5百万円減少し、829億7千万円（前年同期比3.7%減）となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においては、消費税増税後の市場低迷の影響等により、売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ6億3千2百万円減少し、81億4千5百万円（同比7.2%減）となりました。これにより、セグメント合計の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ37億8千7百万円減少し、911億1千6百万円（同比4.0%減）となりました。

<営業損益>

清涼飲料事業においては、売上高の減少があったものの、構造改革に伴うコスト削減等により、営業損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億7千万円改善し、18億5千5百万円の営業損失となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においては、売上高の減少により、営業損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ4千4百万円減少し、6億8百万円（同比6.9%減）の営業利益となりました。これにより、セグメント合計の営業損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億2千5百万円増加し、12億4千6百万円の営業損失となりました。

<経常損益および四半期純損益>

経常損益は、当第1四半期連結累計期間における営業損益の改善等により、前第1四半期連結累計期間に比べ1億1千1百万円改善し、12億9千万円の経常損失となりました。一方、法定実効税率引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩し等による法人税等調整額の増加を主要因として、四半期純損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億7千8百万円減少し、12億5千2百万円の四半期純損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ92億5千9百万円減少し、3,280億円（前連結会計年度比2.7%減）となりました。これは主に、売上債権やたな卸資産の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ64億3千5百万円減少し、766億7千4百万円（同比7.7%減）となりました。これは主に、買掛金等の仕入債務の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ28億2千4百万円減少し、2,513億2千6百万円（同比1.1%減）となりました。これは主に、配当金支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の業績予想につきましては、平成27年2月4日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,996	39,827
受取手形及び売掛金	27,797	24,083
有価証券	100	100
商品及び製品	25,659	22,703
仕掛品	547	792
原材料及び貯蔵品	2,166	2,989
その他	18,098	17,030
貸倒引当金	△316	△357
流動資産合計	116,050	107,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,132	32,507
機械装置及び運搬具（純額）	23,252	22,245
販売機器（純額）	27,113	27,305
土地	59,155	59,131
建設仮勘定	11	15
その他（純額）	1,457	2,199
有形固定資産合計	144,124	143,403
無形固定資産		
のれん	39,539	38,876
その他	8,160	8,258
無形固定資産合計	47,699	47,135
投資その他の資産		
投資有価証券	19,162	20,266
その他	10,622	10,437
貸倒引当金	△398	△411
投資その他の資産合計	29,386	30,292
固定資産合計	221,210	220,832
資産合計	337,260	328,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,750	15,735
1年内返済予定の長期借入金	2,517	2,517
未払法人税等	2,024	208
未払金	20,649	19,438
販売促進引当金	260	307
その他	8,173	8,079
流動負債合計	51,375	46,287
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	2,719	1,465
退職給付に係る負債	3,871	3,757
役員退職慰労引当金	149	148
その他	4,993	5,015
固定負債合計	31,734	30,386
負債合計	83,109	76,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	131,355	127,811
自己株式	△4,580	△4,582
株主資本合計	251,079	247,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,389	4,579
繰延ヘッジ損益	317	192
為替換算調整勘定	16	15
退職給付に係る調整累計額	△1,026	△1,342
その他の包括利益累計額合計	2,696	3,445
少数株主持分	374	347
純資産合計	254,150	251,326
負債純資産合計	337,260	328,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	94,903	91,116
売上原価	47,681	44,938
売上総利益	47,222	46,177
販売費及び一般管理費	48,595	47,424
営業損失(△)	△1,372	△1,246
営業外収益		
受取利息	19	12
受取配当金	22	18
持分法による投資利益	34	—
その他	147	171
営業外収益合計	224	202
営業外費用		
支払利息	141	83
持分法による投資損失	—	30
固定資産除却損	30	72
その他	82	59
営業外費用合計	254	246
経常損失(△)	△1,402	△1,290
特別利益		
投資有価証券売却益	67	—
特別利益合計	67	—
特別損失		
商品表記対応費用	186	—
特別損失合計	186	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,521	△1,290
法人税、住民税及び事業税	382	233
法人税等調整額	△835	△279
法人税等合計	△453	△45
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,068	△1,244
少数株主利益	6	7
四半期純損失(△)	△1,074	△1,252

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,068	△1,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257	1,189
為替換算調整勘定	—	△0
退職給付に係る調整額	94	△319
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△120
その他の包括利益合計	△159	748
四半期包括利益	△1,227	△496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,233	△503
少数株主に係る四半期包括利益	6	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	86,126	8,777	94,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	86,126	8,777	94,903
セグメント利益又は損失(△)	△2,026	653	△1,372

(注) 売上高およびセグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の売上高および営業損失(△)とそれぞれ一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	82,970	8,145	91,116
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	82,970	8,145	91,116
セグメント利益又は損失(△)	△1,855	608	△1,246

(注) 売上高およびセグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の売上高および営業損失(△)とそれぞれ一致しております。